

教育委員会便り **ゆずの里通信**

未来を拓く人づくり(小中一貫教育)プロジェクト

小中一貫教育では、義務教育9年間を通して、めざす子ども像を各中学校区で共有し、小学校と中学校のつながりを意識した教育を行います。特に9年間の一貫した指導計画(カリキュラム)による教科指導などを行うことで、学校や地域で一人一人の子ども達が輝けるよう、各中学校区の小中3校ずつで協力して子ども達の教育を進めています。

小中一貫教育推進スケジュール(平成33年度全面実施に向けて)

ステップ1

平成30年度
「知る」
心のつながり
交流活動の重視

ステップ2

平成31年度
「つなぐ」
学びの連続性
系統性の重視

ステップ3

平成32年度
「見通す」
9年間を見通した
教育課程一部実施

小中一貫教育推進委員会の設置・実施(各校校長・教頭・主幹教諭等) →

学校運営協議会規則制定

学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の実施 →

学校

- 児童生徒に関わるもの
 - ①めざす子ども像の設定
 - ②乗り入れ授業(※)の計画
 - ③「いのち」の教育
全体計画の作成
- 教職員研修
 - ①合同研修会
 - ②3校合同授業研究会
 - ③研究発表

保護者・地域

- コミュニティ・スクールの周知
- ①学校だよりでの周知
 - ②子育て講演会
 - ③ゆずの里通信の発行

※乗り入れ授業：教師が勤務している学校以外で授業を行うこと。

学校

- 小中一貫教育推進委員会
 - ①「いのちの学習」カリキュラム作成
 - ②学びの進め方作成
 - ③生活の約束作成
 - ④9年間を見通した教育課程の編成
- 児童生徒に関わるもの
 - ①乗り入れ授業の試行
 - ②3校合同行事の試行
- 教職員研修
 - ①合同研修会
 - ②3校合同授業研究会
 - ③成果と課題の検証と改善
 - ④研究発表

保護者・地域

- コミュニティ・スクールへの協力
- ①学校だよりでの報告
 - ②保護者・地域への説明会
 - ③学校運営協議会の実施

学校

- 小中一貫教育推進委員会
 - ①9年間を見通した教育課程の一部実施
- 児童生徒に関わるもの
 - ①児童生徒の交流
小→中
・部活動
・生徒会による学校説明会
中→小
・支部体育大会・運動会支援
・吹奏楽部演奏会
- ②合同行事
・防災訓練
- 教職員研修
 - ①合同研修会
 - ②9年間の学びの連続性を意識した授業づくり研究
 - ③研究発表

保護者・地域

コミュニティ・スクールへの参画

小中一貫教育だと学力が向上するって本当？

どうして小中一貫教育だと学力が身につくの？



何と言っても9年間を見通した指導計画ができるから、教え方も学び方も一続きと考えることができるんだ。他にも理由があるんだよ。

理由その1

小学校の時に慣れ親しんだ担任やその他の先生が中学校の授業に関わるから、安心して授業が受けられる！

理由その2

小学校・中学校を9年間の一続きと考えるから、小学校の学びがそのまま中学校で生かせる！

理由その3

学習内容や教え方の研究が、小中学校の先生同士でできるから、「わかる授業」がもっとできるようになる！

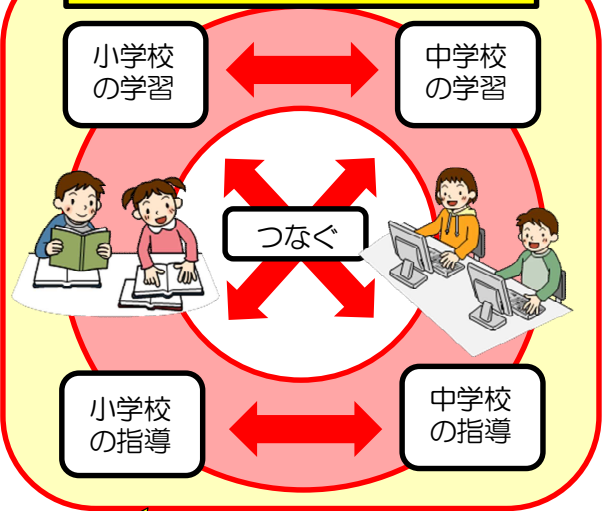
理由その4

子ども達のことをよくわかっている小学校の先生が、中学校の先生と一緒に一人一人の得意不得意のことを考えて勉強を教えてくれる！

理由その5

小学校の先生は、きめ細やかに勉強を教えてくれ、中学校の先生は専門的なことを教えてくれる。小中学校の先生が協力するので、その両方の教え方で教えてくれる！

9年間を見通した学びの連続性と系統性の実現



なるほど！確かに分かりやすい授業だと楽しいし、もっとやってみようという気持ちになるね。



そうね。やる気が出れば、学力アップにつながるわね。

小中一貫教育では生活面の指導も充実します

中学校の先生が、小学生の学力や生活の実態を把握することで、中学校入学後の学習や生徒指導に生かすことができます。小中一貫教育を推進すると学習だけでなく、生活面も一人一人の子ども達について、小中の教員がより充実した生徒指導を行うことができるようになります。



最近、あの子元気ないなあ。何かあったのかな？



小学校の時は、いろいろ活躍していましたよ。いい所がたくさんあるですよ。

